

令和5年(2023)10月 入域観光客数概況(確定版)

78万8,300人
対前年(R4)同月比 +15万7,600人、+25.0%
～10月としては復帰後4番目、対前年同月比で23ヶ月連続の増加～
※(R元年度)同月比 ▲6万3,000人、▲7.4%

【更新履歴】①令和5年11月27日速報版公表

②令和6年1月25日確定版公表

※外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、1月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を3枚目に追加しています。

※外国人観光客数の確定値については、国別内訳集計時における四捨五入の関係で、速報版とは一致しません。

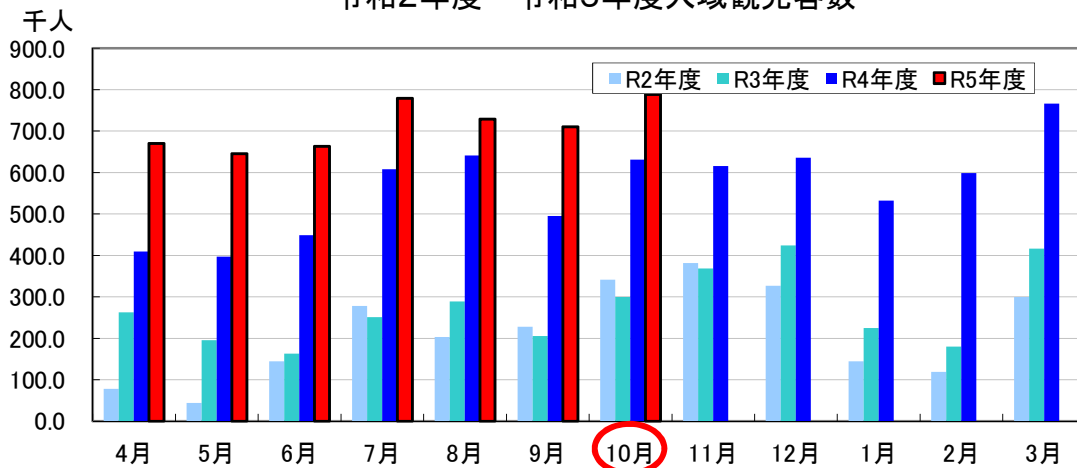
入域状況

入域観光客数(令和4年度との比較)

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
国内客	672,900人	628,000人	+44,900人	+7.1%	85.4%
外国客	115,400人	2,700人	+112,700人	+4,174.1%	14.6%
合計	788,300人	630,700人	+157,600人	+25.0%	100.0%

※外国客には、海路における乗務員等12,300人を含む。

令和2年度～令和5年度入域観光客数



国内客 入域状況

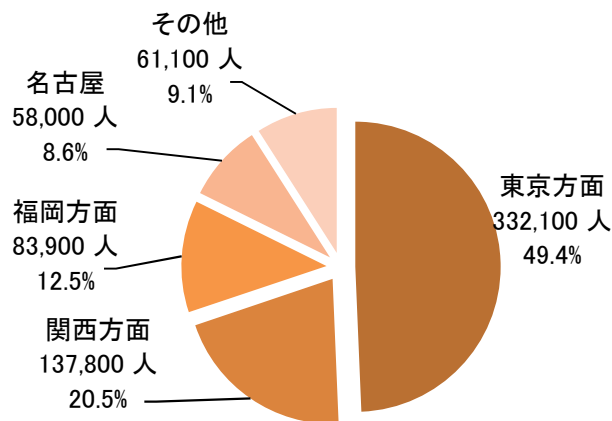
10月は、修学旅行シーズンを迎えるほか、那覇大綱挽まつり(10/7～9)等の県内イベントの開催があったこと、横浜発着大型クルーズ船の寄港が2回あったこと等から、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。

国内客 地域別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	332,100 人	316,400 人	+ 15,700 人	+ 5.0%	49.4%
関西方面	137,800 人	131,800 人	+ 6,000 人	+ 4.6%	20.5%
福岡方面	83,900 人	74,600 人	+ 9,300 人	+ 12.5%	12.5%
名古屋	58,000 人	59,300 人	△ 1,300 人	△ 2.2%	8.6%
その他	61,100 人	45,900 人	+ 15,200 人	+ 33.1%	9.1%
合計	672,900 人	628,000 人	+ 44,900 人	+ 7.1%	100.0%

※国内海路客5,300人含む。

国内客の地域構成比



各方面ごとの概況と見通し

東京

10月は、修学旅行シーズンを迎えるほか、那覇大綱挽まつり等の県内イベントの開催があったこと、航空会社による連休等の需要を見込んだ臨時便があったこと等から、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。

関西

10月は、修学旅行シーズンを迎えるほか、那覇大綱挽まつり等の県内イベントの開催があったこと等から、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。

福岡

10月は、修学旅行シーズンを迎えるほか、那覇大綱挽まつり等の県内イベントの開催があったこと等から、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。

名古屋

10月は、前年度に同月まで運航されていた石垣・宮古行き季節運航が、今年度は8月までの運航であったこと等から前年度同月を下回ったものの、修学旅行シーズンを迎えるほか、那覇大綱挽まつり等の県内イベントの開催があったことから、コロナ禍前の令和元年度同月を上回り、堅調に推移した。

外国客 入域状況

10月は一部航空路線の運休が継続しているものの、国慶日連休に係る那覇ー台北チャーター便運航のほか、国慶節連休(10月上旬)、重陽節連休(香港、10/21~23)等の旅行需要により、外国客数は堅調に推移した。

11月以降について、那覇ー北京便の一時運休(12/23再開)等があったものの、那覇ーシンガポール便(11/30~)、那覇ー高雄便(1/1~)等航空路線の再開が続くほか、クリスマス休暇や年末年始、春節等による旅行需要を受け、回復基調が続くものと見込まれる。

- トピック**
- ▶ 令和5年3月の国際クルーズ船再開以降、10月の海路客が最多となった。7月から9月までは台湾人観光客が多くを占めていたが、10月は「スペクトラム・オブ・ザ・シーズ」、「ノルウェー・ジャン・ジュエル」等の大型クルーズ船の寄港により、欧米、オーストラリア等からも多くの観光客が沖縄を訪問した。
 - ▶ 【台湾】那覇ー高雄便について、チャイナエアラインの運航再開(1/1~、週3便)に続き、タイガーエア台湾が臨時便を運航(1/16~2/14、週7便)
 - ▶ 【シンガポール】ジェットスター直行便を活用したツアー商品の造成が進んでおり、初便では自転車持参によるサイクリングツアー等での来沖があった。

外国客 国籍別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
台湾	44,000人	1,300人	+42,700人	+3,284.6%	38.1%
韓国	23,900人	0人	+23,900人	皆増	20.7%
中国本土	4,600人	0人	+4,600人	皆増	4.0%
香港	13,600人	1,100人	+12,500人	+1,136.4%	11.8%
アメリカ	6,100人	200人	+5,900人	+2,950.0%	5.3%
タイ	300人	0人	+300人	皆増	0.3%
シンガポール	1,200人	0人	+1,200人	皆増	1.0%
その他	21,700人	100人	+21,600人	+21,600.0%	18.8%
合計	115,400人	2,700人	+112,700人	+4,174.1%	100.0%

※「その他」には、海路における乗務員等12,300人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R5年度	R4年度	増減率	構成比	R5年度	R4年度	増減率	構成比
台湾	37,100人	1,300人	+2,753.8%	47.0%	6,900人	0人	皆増	18.9%
韓国	21,400人	0人	皆増	27.1%	2,500人	0人	皆増	6.8%
中国本土	3,700人	0人	皆増	4.7%	900人	0人	皆増	2.5%
香港	11,100人	1,100人	+909.1%	14.1%	2,500人	0人	皆増	6.8%
アメリカ	1,500人	200人	+650.0%	1.9%	4,600人	0人	皆増	12.6%
タイ	200人	0人	皆増	0.3%	100人	0人	皆増	0.3%
シンガポール	300人	0人	皆増	0.4%	900人	0人	皆増	2.5%
その他	3,600人	100人	+3,500.0%	4.6%	18,100人	0人	皆増	49.6%
合計	78,900人	2,700人	+2,822.2%	100.0%	36,500人	0人	皆増	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等12,300人を含む

外国客の地域構成比

